

1 施設使用料:10施設(1時間当たりの金額:円)

施設名	金額	開放の可否
大会議室(108席)	2,900	×
中研修室(42席)	1,300	×
小研修室(20席)	600	×
産学交流室(30席)	1,100	×
小会議室(12席)	550	×
電波暗室	3,800	○
実用化研究室	250	○
クリーンルーム	2,000	○
シールドルーム	300	○
講師控室	300	×

使用にあたっての注意事項

- 1 はじめに施設等使用条件(最終ページに掲載)をお読みにになり、承諾のうえ使用を申請してください。
- 2 使用時間が1時間に満たない場合、1時間に切り上げます。
- 3 本表は平日午前9時から午後5時までに適用されます。時間外の使用料及び手数料は、2割を加算した額(100円未満は100円に切り上げ)になります。



2 機器使用料:233機器(1時間当たりの金額:円)

機器名	金額	開放の可否
●精密測定関連機器(10機器)		
工具顕微鏡	500	(○)
三次元座標測定機	5,700	(○)
真円度測定機	1,000	(○)
超精密表面粗さ測定機	1,000	(○)
非接触三次元表面粗さ測定機	1,400	(○)
表面粗さ・形状測定機	1,800	(○)
非接触三次元測定機	1,600	(○)
非接触三次元平面度測定機	550	(○)
超精密非接触三次元形状評価装置	500	(○)
ワンショット測定顕微鏡	550	(○)
●材料加工関連機器(53機器)		
加工特性評価システム(コンディション不良)	3,500	×
カットオフマシン	550	○
機械的特性評価試験機	5,200	○
高温焼成実験炉(コンディション不良)	1,100	×
高速精密カッティング	750	(○)
射出成型機	1,400	(○)
スライシングマシン	750	(○)
ツインロックウェル硬さ試験機	550	○
電気炉	600	(○)
熱間等方圧プレス(故障中)	1,500	×
B型粘度計(コンディション不良)	500	×
引張圧縮試験機	650	(○)
複合材料作製用オートクレーブ	600	○
粉碎機	500	(○)
放電プラズマ焼結機	7,600	(○)
ホットプレス兼用高温炉	2,200	(○)
マイクロスコープ	550	(○)
マイクロスライサー	1,200	(○)
超精密CNC成形平面研削盤	3,100	(○)
高速NCフライス盤	2,000	(○)
大型ホットプレス	2,300	○

機器名	金額	開放の可否
●材料加工関連機器(53機器) つづき		
加圧型ニーダー	750	(○)
スーパーミキサー	550	(○)
大型連続式放電プラズマ焼結機	15,600	○
ビッカース硬度計	600	○
マイクロビッカース硬度計(技術改善支援で対応)	700	×
レーザー回折散乱式粒度分布測定装置	1,200	(○)
気流式粉碎機	1,700	○
五軸マシニングセンタ	3,800	(○)
電子顕微鏡試料作成用スライサー	350	○
メルトインデックサ	550	(○)
超音波厚さ計	900	○
衝撃試験装置	700	○
マイクロフォーカスX線CT装置	3,100	○
マイクロフォーカスX線透過装置	1,800	○
高分子材料コンパウンド装置	3,500	(○)
クリープ試験機	600	(○)
樹脂流動解析ソフトウェア	1,000	(○)
工具評価用電子顕微鏡	1,100	(○)
高速引張圧縮試験機	1,100	(○)
光沢計	400	○
分光色彩計	400	○
分光変角色差計	400	○
3D超音波検査装置	1,800	○
平面研削盤	2,000	(○)
超音波援用加工装置	1,200	(○)
ハイスピードカメラ	1,300	(○)
マイクロスコープ(DMS1000)	500	(○)
自動研磨機	500	○
精密自動切断機	500	○
振動研磨機	500	○
ダイヤモンドワイヤーソー	1,000	○
送風定温恒温器	500	(○)

(○) 条件付きで開放いたします。

詳細は事前にお問い合わせください。

2 機器使用料:233機器(1時間当たりの金額:円)

機器名	金額	開放の可否
●電子・情報関連機器(73機器)		
静電気放電イミュニティ試験装置	300	○
デジタルオシロスコープ	550	○
電圧ディップ瞬時電圧変動試験装置	750	○
電源高調波・フリッカ測定装置	500	○
電源周波数磁界イミュニティ試験装置	500	○
ネットワークインピーダンスアナライザ	500	○
LCRメータ	500	○
インピーダンスアナライザ	500	○
多チャンネル電流測定器	250	○
電力増幅器	550	○
薄膜透磁率測定システム	550	○
マイクロ波プローバ	500	○
磁気シールドケース	500	○
FEM磁場シミュレータ	550	○
モーダル解析ソフトウェア	550	○
振動データ収集システム	500	○
非接触レーザ振動計	500	○
加振システム	500	○
電波暗室測定システム	4,600	○
伝導EMC試験システム	2,000	○
高周波スペクトル測定装置	550	○
FTB試験装置	750	○
デジタルマルチメータ	500	○
耐電圧試験機	500	○
通信アルゴリズムシミュレータ	750	○
フラックスゲート磁力計	550	○
ガウスメータ	550	○
電圧発生器	500	○
ベクトルネットワークアナライザ	1,000	○
任意波形発生器	550	○
超低温恒温恒湿槽	500	○
酸化・拡散炉	2,500	○
スパッタ装置	1,200	○
顕微鏡式薄膜測定装置	600	○
触針式段差計	650	○
TDR装置	700	○
測定機能付精密電流・電圧源(ソースメータ)	600	○
紫外線照度計	600	○
高周波電磁界解析シミュレータ	750	○
ロックインアンプ	600	○
高速電力増幅器	600	○
熱衝撃試験機	500	○
BCI試験機	1,500	○
静電気放電イミュニティ試験装置Ⅱ	300	○

機器名	金額	開放の可否
●電子・情報関連機器(73機器) つづき		
車載用伝導エミッション測定装置	1,400	○
車載用放射エミッション測定装置	300	○
非接触画像光学式三次元デジタイザ	2,300	○
両面マスクアライナー	700	○
スピコーター	300	○
高性能信号発生器	500	○
リアルタイムスペクトラムアナライザ	500	○
熱ナノインプリント装置	1,500	(○)
静電気測定機	350	○
顕微鏡機能付き赤外線サーモグラフィ	550	○
全光束測定システム	700	○
通信プロトコル解析機能付きデジタルオシロスコープ	550	○
振動試験装置	2,200	○
複合環境試験用恒温恒湿槽	1,000	○
車載電装品用試験電源	750	○
二次元色彩輝度計	1,400	○
過渡サージ試験装置	1,600	○
雷サージ試験装置	700	○
ベクトルネットワークアナライザ(Ⅱ)	800	○
プリント基板加工装置	600	○
ポータブル3Dデジタイザ	1,300	○
医用積層画像処理ソフトウェア	700	(○)
磁場中熱処理装置	1,300	○
カー効果顕微鏡	1,100	○
振動試験型磁力計	2,800	○
電源ノイズアナライザ	1,400	○
リアルタイムスペクトラムアナライザ(RSA)	1,600	○
外観検査用AIシステム	1,200	○
ハイパースペクトルカメラ	2,400	○
●工業デザイン関連機器(13機器)		
CAEシステムワークステーション	2,300	○
真空注型機	550	○
光造形システム(Ⅲ)iPRO(技術改善支援で対応)	4,000	×
ウェットブラスト装置	1,100	○
光造形システム(Ⅳ)Projet(故障中)	2,600	×
熱溶解積層造形システム	1,200	○
小型彫刻機	400	○
レーザーカッターシステム	2,600	○
三次元CADシステム	650	○
CAD連携CAEシステム	700	○
UVプリンター	1,800	○
グラフィック処理システム	500	○
エンジニアリングプラスチック造形システム	1,600	○

(○) 条件付きで開放いたします。

詳細は事前にお問い合わせください。

2 機器使用料:233機器(1時間当たりの金額:円)		
機器名	金額	開放の可否
●食品・バイオテクノロジー関連機器(49機器)		
温度勾配恒温機	500	○
乾燥機	200	○
真空ガス置換包装機	500	○
生物顕微鏡システム	550	○
窒素分析装置	500	○
超低温フリーザー	200	○
融砕機(マスコロイダ)	500	○
ロータリーエバポレータ	450	○
クリーンベンチ(MHE-130AJ)	500	○
恒温振とう器	500	○
遠心分離機	550	○
高速液体クロマトグラフ	1,100	○
テクスチャー評価装置	500	○
滅菌用オートクレーブ	500	○
ケミルミネッセンスアナライザ	750	○
味評価装置	1,400	○
香り評価装置	1,800	○
飽和蒸気調理機	650	○
官能評価装置付ガスクロマトグラフ質量分析装置	1,300	○
蛍光マイクロプレートリーダー	1,100	○
インキュベータ	250	○
サイレントカッター	500	○
採肉機	500	○
卓上型万能高速カッター・ミキサー	500	○
食品脱水機	500	○
魚体処理機	500	○
腸詰機	500	○
スチームコンベクションオープン	800	○
両面焼成調理機	500	○
卓上型小型包あん機	500	○
小型レトルト殺菌装置	500	○
減圧加熱調理機	400	○
缶詰巻き締め機	400	○
食品熱量測定装置(I)CA-HN	550	○
恒温恒湿槽	250	○
高速液体クロマトグラフ(Chromaster)	1,100	○
ヘッドスペースガスクロマトグラフ(HS20/GC2030)	1,700	○
吸光マイクロプレートリーダー	450	○
マイクロプレートウォッシャー	200	○
水分活性測定装置	500	○
食品熱量測定装置(II)CA-HM	1,000	○
紫外可視分光光度計	500	○
モバイル分光測色計	350	○
大型オートクレーブ	250	○
サーマルタンク500	200	○
クリーンベンチ(VSF-130I)	200	○
酒造用タンク360	200	○

機器名	金額	開放の可否
●食品・バイオテクノロジー関連機器(49機器) つづき		
大容量冷却遠心分離機	500	○
真空凍結乾燥機	700	○
●分析・測定関連機器(35機器)		
エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDXRF)	1,600	(○)
誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-OES)	2,900	(○)
全反射X線光電子分光装置(XPS)	3,400	(○)
炭素・硫黄同時分析装置	1,800	○
熱分析システム(TG/DTA, DSC, TMA, DMA)	1,000	○
電子天秤	300	○
接触角計	550	○
蛍光分光光度計	500	○
電界放出型電子プローブマイクロアナライザ(FE-EPMA)	4,800	(○)
レーザー顕微鏡	1,300	(○)
ガスクロマトグラフ	500	(○)
超高速液体クロマトグラフ質量分析システム	2,800	○
フーリエ変換赤外分光分析装置(FT-IR)	1,000	(○)
多目的X線回折装置(XRD)	3,100	(○)
走査型電子顕微鏡	4,000	(○)
イオン研磨装置	1,300	(○)
倒立型金属顕微鏡	1,000	○
加熱加圧埋込機	800	○
ガスクロマトグラフ質量分析計(GC-MS)	3,100	(○)
スパーク放電発光分光分析装置	2,000	○
ラマン分光光度計	3,400	(○)
レオメーター(MCR302)	1,900	(○)
DNAシーケンサ	3,600	○
遺伝情報解析ソフトウェア	150	○
PCRサーマルサイクラ	200	○
冷却遠心分離機	250	○
微量分光光度計	250	○
電気泳動ゲル撮影装置	250	○
アンプル用凍結乾燥装置	250	○
アンプル熔閉器	150	○
波長分散型蛍光X線分析装置(WDXRF)	3,700	(○)
ガラスビード作製装置	1,300	○
紫外可視近赤外分光光度計	900	(○)
高温対応微弱発光検出装置 (HT-CLA)	1,000	(○)
シャルピー衝撃試験機(シャルピー)	900	(○)

3 その他の手数料(金額:円)

区分	金額
研究員技術的支援手数料	3,900
研修員受入手数料	3,600
試験等手数料 別紙「試験等手数料表」のとおり	—

(○) 条件付きで開放いたします。

詳細は事前にお問い合わせください。

施設等使用条件 ～ 承諾のうえ使用を申請してください ～

- 1 センターの設置目的(産業技術の研究開発の推進及びその成果の普及を図り、県内の産業振興に寄与する)に合致する場合に限り施設等の使用を許可致します。ただし、以下に該当する場合には施設等の使用を許可できません。
 - (1) 施設等又は設備を棄損するおそれがあるなど、安全の確保、環境の保全等に反するとき。
 - ・火気(電熱器、固形燃料など)、ガス、薬品、重量物などの危険物を取り扱うご利用
 - ・ダンス、楽器演奏、合唱等でのご利用
 - ・飲食を伴うご利用
 - ・その他、管理上問題があると判断した場合
 - (2) 業務上又は管理上支障があると認められるとき。
 - ・物品の保管場所としてのご利用
 - ・有料の講習会、セミナーなどのご利用
 - ・職員の指導に従わない場合
 - ・その他、公の秩序または善良の風俗を害すると判断される場合
 - (3) 当センターでの開催が不適當な場合。
 - ・販売、宣伝、勧誘、採用活動、その他これに類する行為
 - ・ポスター、看板等の掲示
 - ・個人または任意団体(町内会、PTA等を含む)による私的な活動と判断される場合
 - ・「県内産業の振興に寄与する」と判断できない場合
 - (4) その他、所長が利用を不適當と認めるとき。
- 2 施設等使用後は、原状回復(復旧、清掃、ウイルスチェック等を含む)し、担当職員の確認を受けて下さい。
- 3 施設等使用者が故意又は過失により施設等又は設備を亡失し、又は棄損した場合には、原状復帰していただきます。
- 4 施設等使用者の責任によって発生した災害等(負傷、疾病、廃疾または死亡等)については、当センターは一切負いません。
- 5 担当職員からその施設等の取扱いに十分習熟していると認定された方が使用者となります。
- 6 使用者は、施設等の使用中、使用許可書を携帯して下さい。
- 7 時間外の使用及び施設又は機器の構造変更には、当センターの事前の許可が必要となります。
なお、時間外は、複数人で使用して下さい。
- 8 施設等の使用に伴う消耗品等は、使用者において用意願います。
なお、使用に際して生じた廃棄物等は使用者の責任で処分して下さい。
- 9 上記条件に違反した場合、使用停止となることがあります。その際、前納した料金は返還致しません。また、未精算の利用料金があった場合には、合理的に類推される最大額を負担していただきます。

USBメモリ等の持ち込みについて ～ お願い ～

- 1 データ持ち帰り等のためUSBメモリ等の記録媒体を持ち込む場合は、受付に設置したウイルスチェック用PCによりウイルスチェックを行ってください。
- 2 上記ウイルスチェックを怠った結果、センターの機器等がコンピューターウイルスに感染し利用できなくなった場合、当該機器の復旧にかかる費用に加え、機器の稼働停止に伴って生じたと合理的に類推される最大の額を損害賠償額として請求する場合がありますので、必ずウイルスチェックを行ってください。
- 3 記録媒体を持ち込む場合には、データ保全の観点から、あらかじめ空の状態にしておいてください。持ち込んだ記録媒体からデータが失われた場合、如何なる理由であっても当センターは一切の責任を負いません。
- 4 念のため、お帰りの際にも、上記ウイルスチェックを行ってください。

よくあるご質問 ～ 不明な点は申請前に職員にご確認ください ～

センターの機器を使いたいのだが？	電話、メール等でご相談ください。Webサイトには技術相談受付フォームもあります。
機器の使い方がわからないのだが？	当該機器の取扱に習熟している方のみ使用可能です。 職員による研修制度(有料:使用料+手数料)もあります。 研修時間は使用者の習熟度や機器により異なります。
平日の夜や休日に使いたいのだが？	時間外(平日9:00～17:00以外)使用の可否は、機器の安全性等をもとに判断します。 ご希望の時間帯に使用がかなわない場合もありますので、ご了承ください。
使用料の支払い方法は？	証紙または納入通知書により納付してください。ただし、実費負担金は証紙では支払えません。
証紙はどこで買えるのか？	センター内の宮城県計量協会(平日8:30～12:00、13:00～16:30)で購入できます。お支払いは現金のみです。 他に購入可能な場所については宮城県Webサイト※でご確認ください。 ※県Webサイト内検索:「収入証紙売りさばき所」
納入通知書が届いたのだが、どこで支払えばいいのか？	発行日から20日以内に金融機関の窓口で現金で納付してください。 納付可能な金融機関については宮城県Webサイト※でご確認ください。 ※県Webサイト内検索:「県税等を納めることができる金融機関」 (ゆうちょ銀行及び郵便局では支払えませんのでご注意ください)
使用料や手数料には消費税は含まれているのか？	含まれています。
薬品や分析機器を持ち込みたいのだが？	必ず事前にご相談ください。安全性や施設管理の観点から許可できない場合もありますので、ご了承ください。

～ 施設機器開放に関するお問い合わせは 企画・事業推進部 基盤技術高度化支援班 (022-377-8700) まで ～

(○) 条件付きで開放いたします。 詳細は事前にお問い合わせください。